

会 議 記 録 (1)

会議名称	平成22年度第2回北本市市民参画推進条例等市民検討委員会
開会及び閉会日時	平成22年7月5日(月) 午後1時30分～午後3時
開催場所	文化センター第3研修室
委員長氏名	委員長 河井宏暢
出席委員(者)氏名	加藤信利、須藤善次郎、高橋陽子、高橋伸治、古賀利雄、宮城仁、秋吉徳子、関山邦孝、矢澤拓夫、河井宏暢
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	協働推進課 主幹 長嶋太一
事務局職員職氏名	協働推進課 課長 柴崎照夫 主幹 長嶋太一 主事補 長谷川知亮
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題 北本市における市民参画及び市民と行政との協働の推進等市内検討委員会作業部会検討報告について</p> <p>3 そ の 他</p> <p>4 閉 会</p>
配布資料	<p>1 次第</p> <p>2 平成22年度 スケジュール表 (協働推進担当)</p> <p>3 宮代町市民参加条例</p> <p>4 和光市市民参加条例</p>

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
河井委員長	<p>1 開 会</p> <p>これより、平成22年度第2回北本市市民参画推進条例等市民検討委員会を開催する。</p> <p>本日の議題に入る前に、前回の委員会を御欠席された須藤善次郎委員に自己紹介をお願いしたい。</p>
須藤委員	— 須藤委員、自己紹介 —
河井委員長	今後のスケジュールについて、事務局から説明がある。
事務局	— 今後のスケジュールについて資料を示して説明 —
河井委員長	<p>事務局からただいま説明のあったとおり、本委員会での検討項目は大きく3つに分けられる。</p> <p>1. 市民参画推進条例の検討、2. 協働推進条例の検討、3. 市民公益活動推進施策の検討。以上3つの項目を、それぞれ順番に検討していく。</p> <p>具体的な日程としては、配布資料にあるとおり、市民参画推進条例の検討を9月中旬まで、協働推進条例の検討を9月下旬から11月下旬まで、市民公益活動推進施策の検討を12月以降に行う予定である。大まかな区切りを踏まえ、協働推進等庁内検討委員会作業部会と協力し、一つずつ検討を行っていく。</p> <p>市民参画推進条例の検討のための参考資料として、宮代町市民参加条例と和光市市民参加条例をお配りした。今回は特別使用しないが、一つのお手本として、家に帰ったら一読いただければと思う。</p> <p>事務局の説明について、委員の皆様から何か質問等はあるか。</p>
一同	— 一同、質問なし —
河井委員長	事務局には、着実に話し合いを進められるよう、会場の確保と資料の準備をお願いします。
事務局	承知いたしました。

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
河井委員長	<p>2 議 題</p> <p>それでは、今回の議題に入る。</p> <p>「北本市における市民参画及び市民と行政との協働の推進等庁内検討委員会作業部会検討報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">— 北本市の現行の市民参画制度について資料を示して説明 —</p>
河井委員長	<p>ただいまの説明について、委員の皆様から何か質問等はあるか。</p>
高橋（伸） 委員	<p>現行の市民参画制度を運用しているのは市長部局ばかりで、教育部局が少ない。</p> <p>「市長への手紙」があるのなら「教育長への手紙」もあっていいのではないか。</p>
事務局	<p>パブリック・コメントやタウンミーティング等、総務の分野は市長部局が担当するものが多くなります。</p> <p>「市長への手紙」では教育分野に関わる要望・質問も受け付けており、教育部局との連携も図っています。</p>
古賀委員	<p>「北本市附属機関等の委員の選任基準に関する要綱」では、委員の選任年齢の上限が75歳となっている。こうした規定は、優秀で経験豊富な高齢者の登用を妨げるもので、高齢化が進む北本市にはそぐわない制度ではないか。他市では「18歳以上」など下限を定めている場合はあっても、上限を定めているところはあまり見かけない。</p>
事務局	<p>なぜ規定があるのか、事務局でははっきりとお答えでき出せませんが、この委員会での議論を通じて、こうした問題にも判断を示していきたいと思います。</p>
高橋（陽） 委員	<p>民生委員の選任上限が75歳なので、それに倣った規定と思われる。</p>
河井委員長	<p>元気な高齢者が増えてきているので、このような年齢規定についても議論し、注意深く検討していきたい。</p>
高橋（伸） 委員	<p>200名を超す市民が、インターネットモニターに参加している。私も参加しているが、アンケートの作り方にプロの視点が欠如しているように感じる。質問事項が稚拙で、それを尋ねてデータをどう活か</p>

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>すのかまったく、不明瞭なものが多い。社会調査の専門家を加えて、もっと内容のある制度にすべきではないか。</p> <p>次々回の市民検討委員会では、各制度の担当者が委員の皆様にも運用状況を直接御説明しますので、ぜひ活発な意見交換を行っていただきたいと思います。</p>
古賀委員	<p>タウンミーティングを行うなら、実施の仕方や、それを受けた市長の政策に対する判断方法も見直すべきと思う。安易に「やりましょう」とその場で返事をするのではなく、各部署や関係団体ときちんと協議し、慎重に検討すべきだ。</p>
関山委員	<p>北本市の市民参画制度はさまざまな要領や要綱で運用されていることが理解できた。</p> <p>市民参画に関わる規定の条例化がこれまで図られてこなかった理由を教えてほしい。</p>
事務局	<p>市民参画制度を必置のものとする基本条例が無かったのが、大きな理由と考えられます。</p> <p>また、市民参画制度は必要に応じて市長が市長の裁量で設けるもの、民意の反映は原則議会を通じて行われるもの、といった意識があったのかもしれませんが。</p>
関山委員	<p>自治基本条例を受け、今回はそのような市民参画制度を条例化していくということか。</p>
事務局	<p>市長の裁量が大きな「市長への手紙」などまで条例の中で規定するのは性質的に難しいかもしれませんが、市が採るべき市民参画の制度を、この市民検討委員会で整理し、条例化を図っていききたいと思います。</p>
河井委員長	<p>これまでの制度を分析し、新たな視点で必要な制度を選択していききたいと思います。</p> <p>各制度の担当者による説明はいつ行うのか。</p>
事務局	<p>担当者による説明は、当初の予定では次回での実施を考えていましたが、制度担当課の通常業務の都合により、次々回に行うことさせていただきます。</p> <p>今回事務局から御説明した概要を踏まえ、第3回委員会では、現行</p>

会 議 記 録 (2)

発言者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
古賀委員	<p>制度の問題点の抽出を進めたいと思います。</p> <p>市民参画とはいっても、現状では市民に結果を一方向的に伝えるに留まっているケースが多いと感じる。参画を広く担保できるような制度を考えていきたい。</p>
秋吉委員	<p>報告書によると、北本市の現行の市民参画制度は、件数等の面であり実績をあげていないように見受けられるが、それでも条例化する理由は何か。</p>
河井委員長	<p>なぜ制度の利用が増えないのかも、この委員会で検討していかなければならない。</p>
秋吉委員	<p>庁内検討委員会作業部会で熱心な検討を行った報告書が既にあるのに、市民検討委員会であらためて検討を行う理由は何か。</p>
事務局	<p>昨年度は、自治基本条例ができる前でしたので、その時点で考えられる制度を市職員の視点で幅広く検討しました。</p> <p>報告書はあくまで参考にしていただき、委員皆様の意見を基に市民参画推進条例を作り上げていきたいと思ひます。</p>
河井委員長	<p>市の広報誌で呼びかけたから市民は勝手に集まってくれるだろう、という単純なやり方から一歩踏み出していく必要がある。他市では100人委員会などを設けて、市政に関心のある市民を積極的に集めようとしている。</p>
秋吉委員	<p>タウンミーティングなどは、なかなか敷居が高いと思う。もっと気軽に市に意見を言えるような制度が欲しい。</p>
河井委員長	<p>気軽に発言や提案ができるよう、方法や場所も考えていきたい。</p>
秋吉委員	<p>中学校の選択制については、さまざまな弊害も生じてきている。子育て中の母親等の意見をもっと積極的に聞くべきと思う。また、少ない年金で生活している高齢者の声も届きにくい。こうした市民の声を市政に適切に反映させられる市民参画制度にしていきたい。</p>
	<p>3 その他</p> <p style="text-align: center;">次回の委員会は7月20日（水）</p>

会 議 記 録 (3)

発言者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>午後1時30分から午後3時まで 文化センター第2会議室で開催予定</p> <p>それではこれもちまして、平成22年度第2回北本市市民参画推進条例等市民検討委員会を終了いたします。お疲れ様でした。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。</p> <p>平成22年 月 日 委員長</p>	